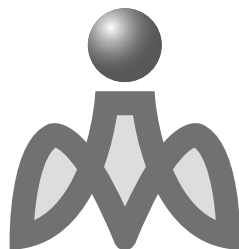


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和6年7月～9月実績〕
〔令和6年10月～12月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

| | |
|---------------------|----|
| I 調 査 要 領 | 1 |
| II 景 況 | |
| 1. 産業全体の業況概観 | 2 |
| 2. 製造業の動向 | |
| (1) 景 況 概 観 | 3 |
| (2) 主な項目で見る業況 | 3 |
| 3. 建設業の動向 | |
| (1) 景 況 概 観 | 6 |
| (2) 主な項目で見る業況 | 6 |
| 4. 小売業の動向 | |
| (1) 景 況 概 観 | 9 |
| (2) 主な項目で見る業況 | 9 |
| 5. サービス業の動向 | |
| (1) 景 況 概 観 | 12 |
| (2) 主な項目で見る業況 | 12 |

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 164企業

2. 調査対象期間

第2四半期 令和6年7月～9月期 「調査時点：令和6年9月1日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

| 商工会名 | 製 造 業 | 建 設 業 | 小 売 業 | サービ 業 | 計 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 都 留 市 | 3 | 2 | 3 | 4 | 12 |
| 山 梨 市 | 1 | 2 | 2 | 3 | 8 |
| 大 月 市 | 2 | 1 | 3 | 2 | 8 |
| 韮 崎 市 | 2 | 2 | 1 | 2 | 7 |
| 南アルプス市 | 3 | 2 | 4 | 6 | 15 |
| 北 杜 市 | 4 | 2 | 5 | 4 | 15 |
| 甲 斐 市 | 4 | 3 | 5 | 2 | 14 |
| 笛 吹 市 | 3 | 2 | 4 | 6 | 15 |
| 上 野 原 市 | 2 | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 甲 州 市 | 3 | 1 | 2 | 3 | 9 |
| 中 央 市 | 2 | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 市 川 三 郷 町 | 2 | 1 | 1 | 2 | 6 |
| 身 延 町 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 |
| 南 部 町 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 富 士 川 町 | 1 | 1 | 1 | 2 | 5 |
| 昭 和 町 | 1 | 1 | 3 | 3 | 8 |
| 西 桂 町 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 南 都 留 中 部 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 |
| 河 口 湖 | 1 | 1 | 6 | 5 | 13 |
| 計 | 37 | 25 | 50 | 52 | 164 |

5. そ の 他

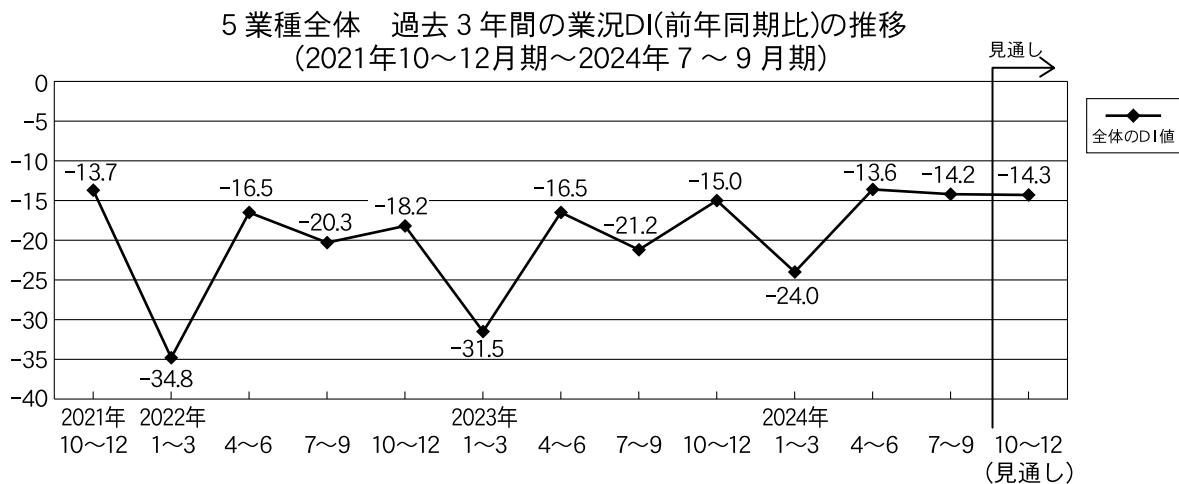
本報告書のDIとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみる。

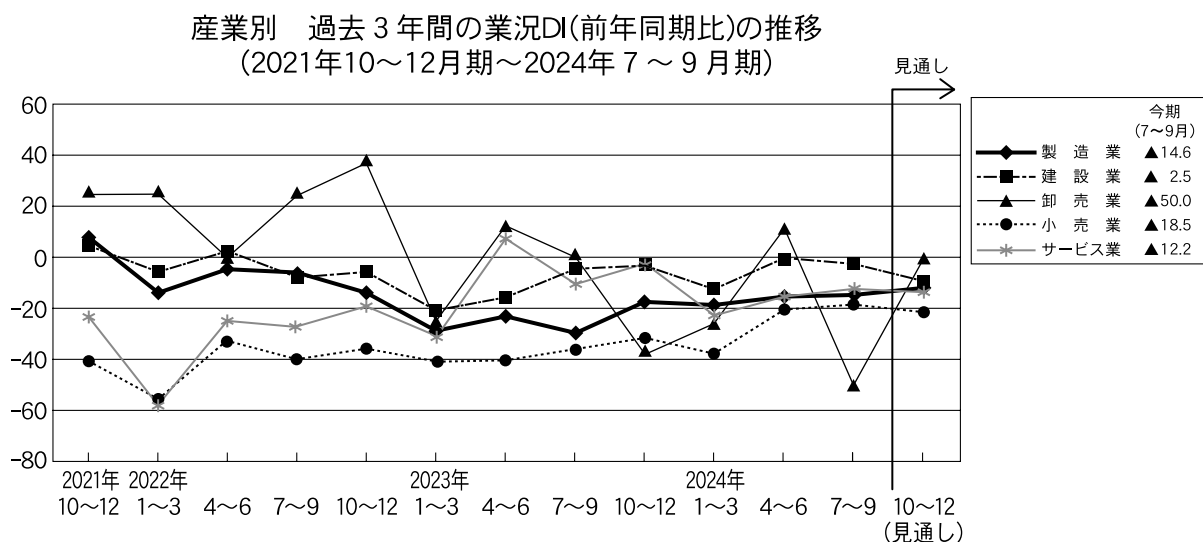
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DIは、▲14.2と前期比で0.6ポイント悪化している。来期も▲14.3と僅かながら悪化の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

4～6期は5業種全てが改善した。製造業は▲14.6で前期比+0.8ポイント、建設業が▲2.5で前期比▲2.5ポイント、卸売業が▲50.0で前期比▲61.1ポイントの大幅悪化、小売業が▲18.5で前期比+1.2、サービス業が▲12.2で前期比+3.3ポイントであった。

来期は、製造業・卸売業が改善、建設・小売・サービス業が悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象164企業に甲府・富士吉田地域等からの115企業を含めた279サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

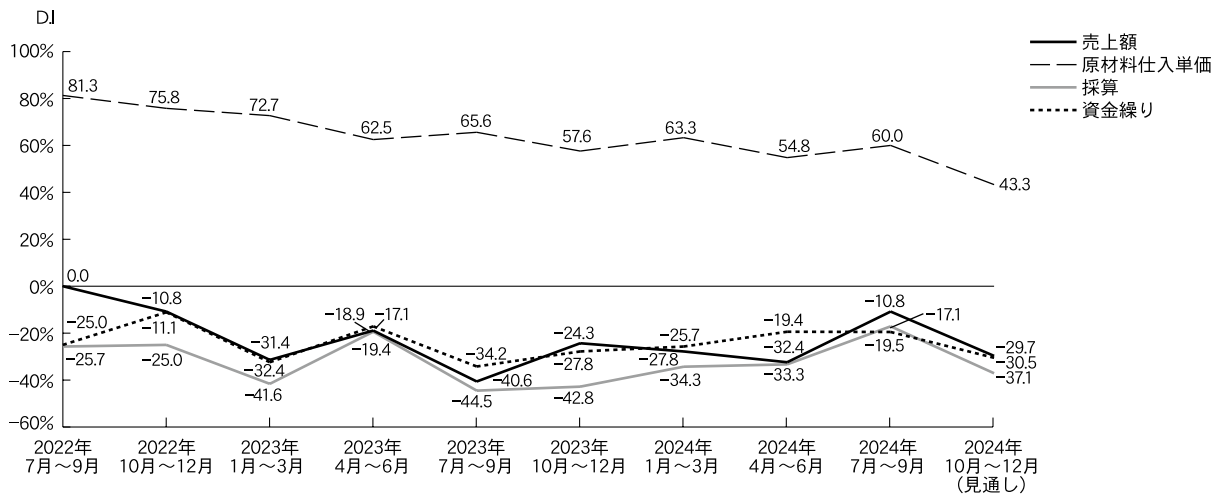
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲10.8と前期比で21.6ポイント改善したが、来期は▲29.7へ悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期60.0と前期比で5.2ポイント上昇（悪化）したが、来期は43.3へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲17.1と前期比で16.2ポイント改善したが、来期は▲37.1へ悪化の見通し。資金繰りD Iは、今期▲19.5と前期比-0.1ポイント、来期は▲30.5へ悪化の見通しである。

今期は、売上額D Iと採算D Iが改善。来期は、原材料仕入単価D Iのみが改善見通しで、他のD Iは全て悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

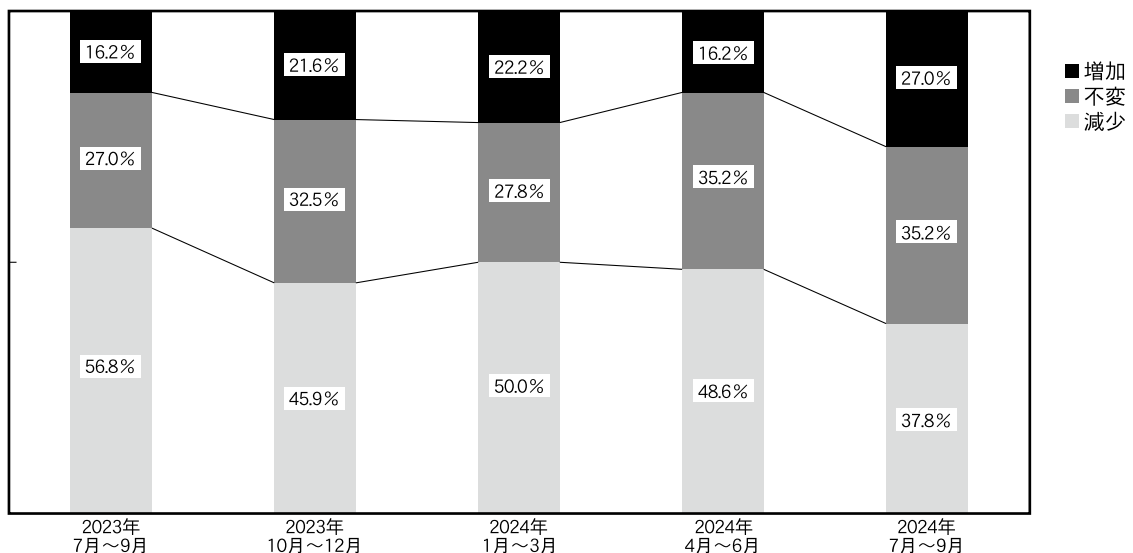
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、27.0%（10社）と増加（前期比+4社）している。

「不変」は35.2%（13社）で変化なし、

「減少」は37.8%（14社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数35社（前回36社））

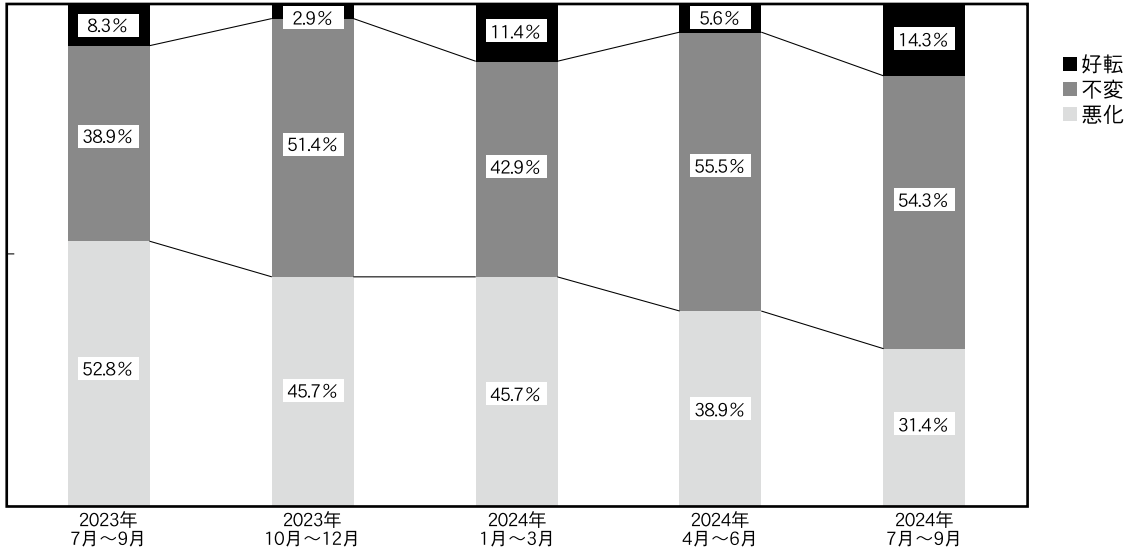
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、14.3%（5社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は54.3%（19社）と減少（前期比▲1社）、

「悪化」は31.4%（11社）と減少（前期比▲3社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

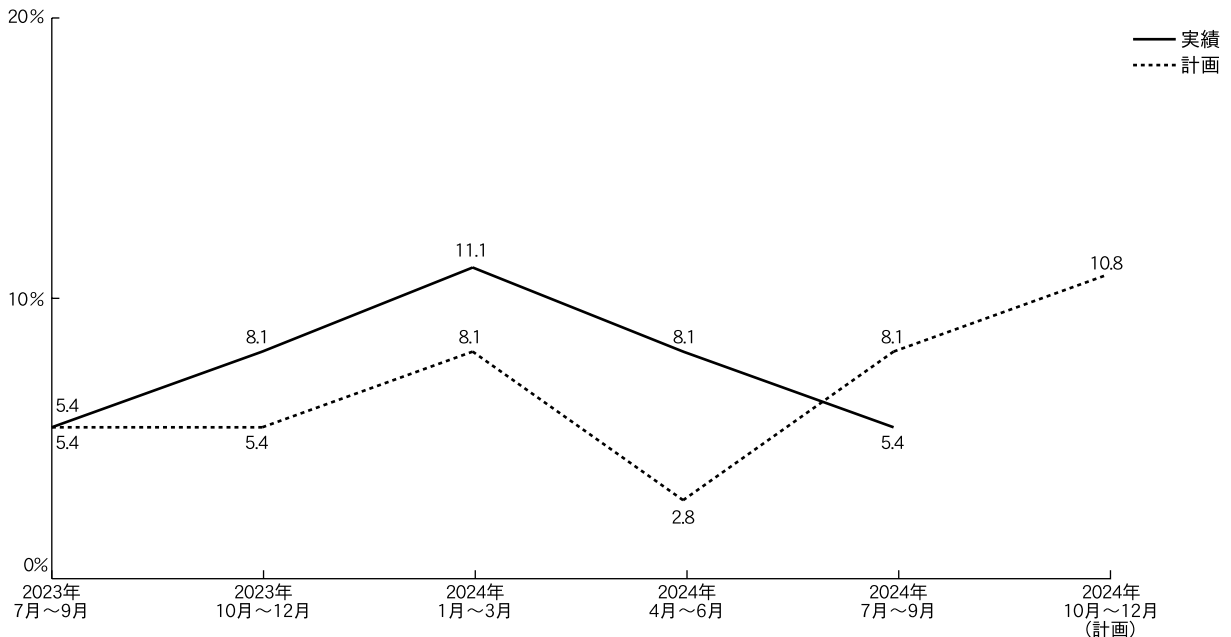


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は5.4%（2社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が2件であった。

来期の計画についても、10.8%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が3件、「車両・運搬具」が1件である。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数36社）

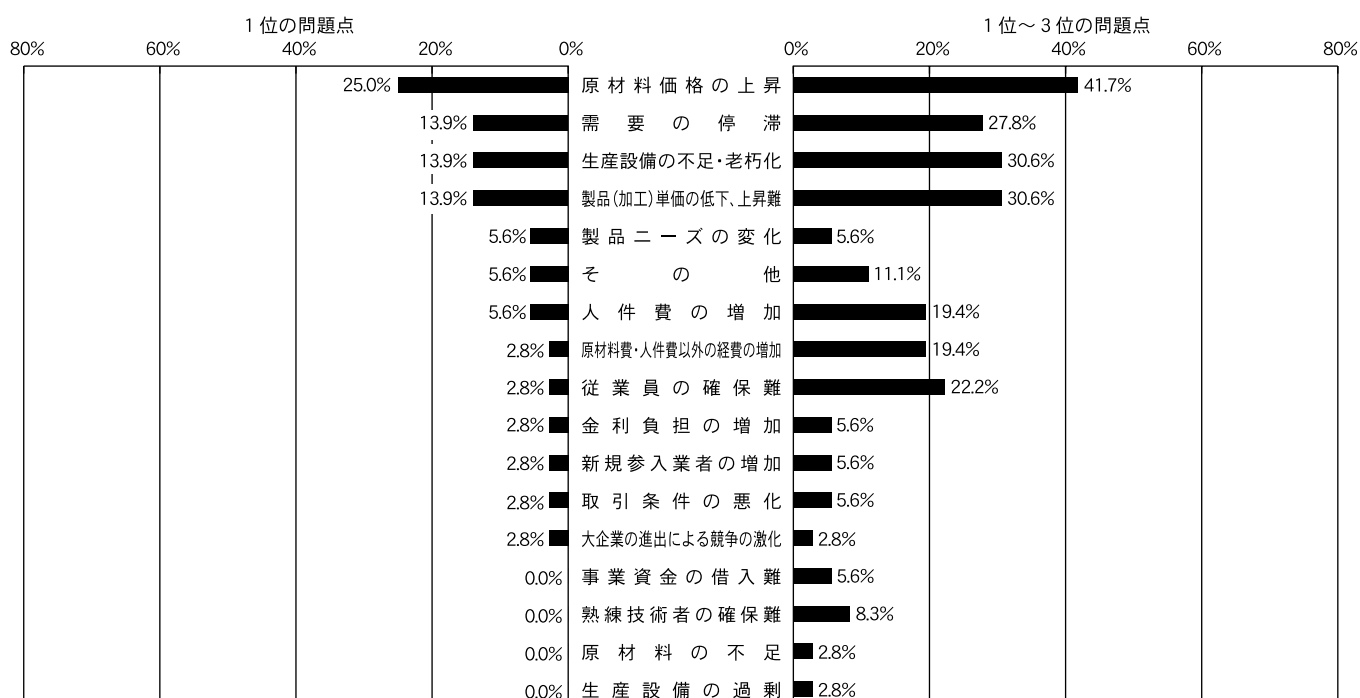
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の25.0%（9社）であり、2番目は「需要の停滞」「生産設備の不足・老朽化」「製品（加工）単価の低下、上昇難」の13.9%（5社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも1番目に多かったのが「原材料価格の上昇」の41.7%（15社）であった。2番目に多かったのは「生産設備の不足・老朽化」「製品（加工）単価の低下、上昇難」の30.6%（11社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 食料品製造業 | 5 | 13.5 |
| 飲料・飼料・たばこ製造業 | 1 | 2.7 |
| 印刷・同関連業 | 2 | 5.4 |
| 化学工業 | 1 | 2.7 |
| プラスチック製品製造業 | 3 | 8.1 |
| 金属製品製造業 | 3 | 8.1 |
| 一般機械器具製造業 | 13 | 35.1 |
| 電気機械器具製造業 | 3 | 8.1 |
| 精密機械器具製造業 | 1 | 2.7 |
| その他製造業 | 5 | 13.6 |
| 合計 | 37 | 100.0 |

従業員規模別

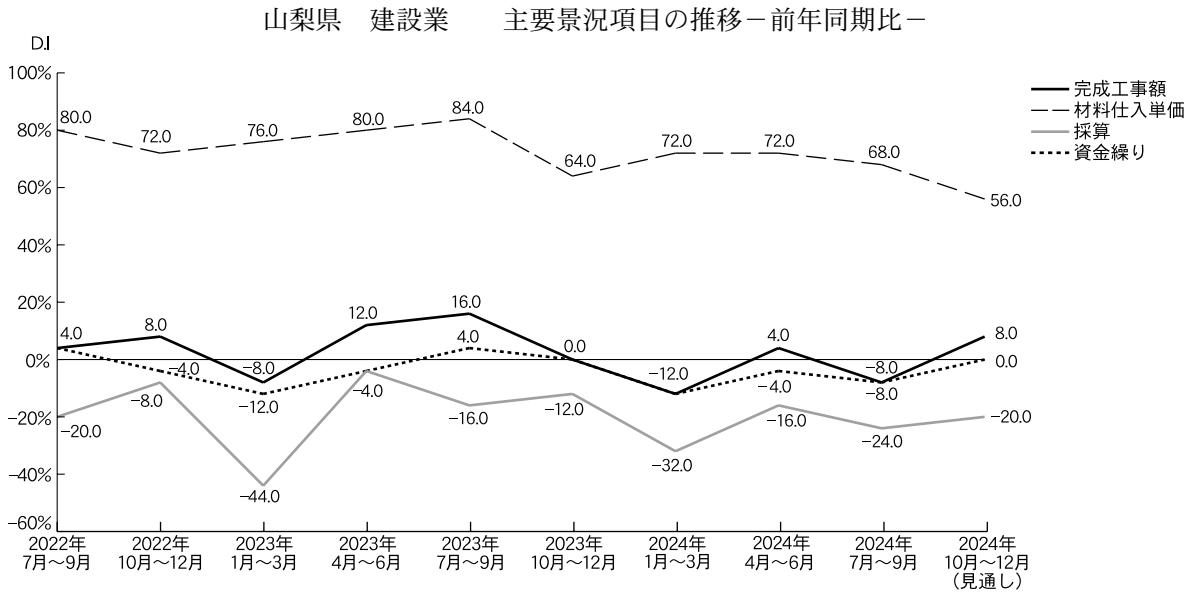
| 従業員数 | 雇用形態 | | 臨時等含む | |
|-----------|------|-------|--------|--------|
| | 常雇い | | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下 | 19 | 51.4 | 16 | 43.2 |
| 3人～5人以下 | 9 | 24.3 | 7 | 19.0 |
| 6人～10人以下 | 6 | 16.2 | 10 | 27.0 |
| 11人～20人以下 | 3 | 8.1 | 4 | 10.8 |
| 合計 | 37 | 100.0 | 37 | 100.0 |

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期▲8.0と前期比で12.0ポイント悪化したが、来期は8.0へ改善の見通し。材料仕入単価D Iは、今期68.0と前期比で4.0ポイント下降（改善）し、来期も56.0へ下降（改善）の見通しである。採算D Iは、今期▲24.0と前期比で8.0ポイント悪化したが、来期は▲20.0へ改善の見通しである。資金繰りD Iも、今期▲8.0と前期比で4.0ポイント悪化したが、来期は0.0へ改善の見通しである。

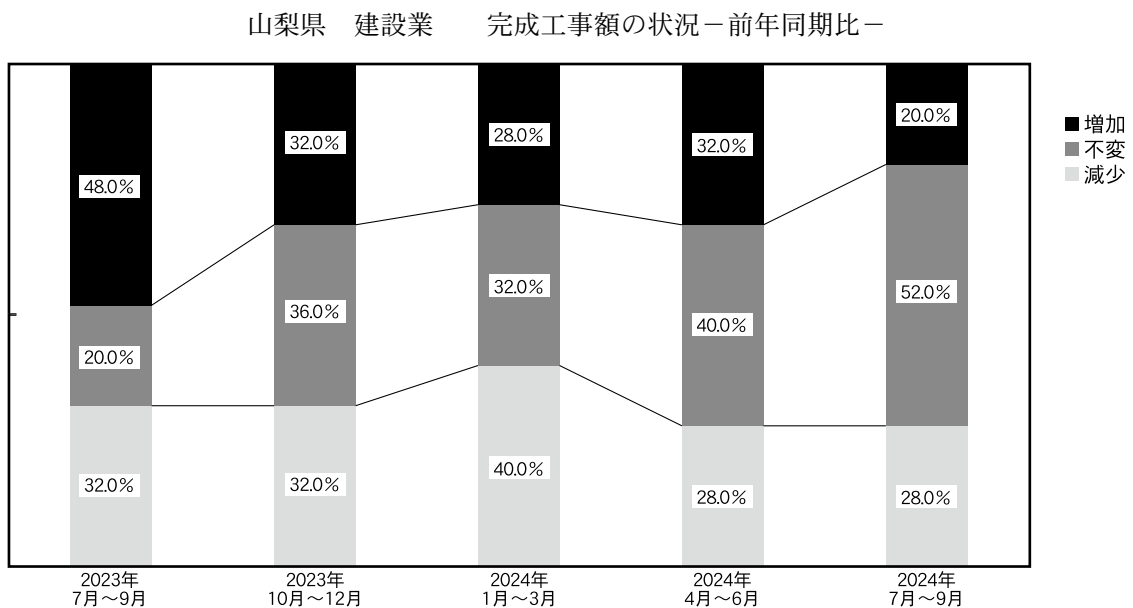
今期は、材料仕入単価D Iのみが改善で、他のD Iは全て悪化。来期は全D Iが改善の見通しである。



(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、20.0%（5社）と減少（前期比▲3社）している。「不変」は52.0%（13社）と増加（前期比+3社）、「減少」は28.0%（7社）で変化なしである。

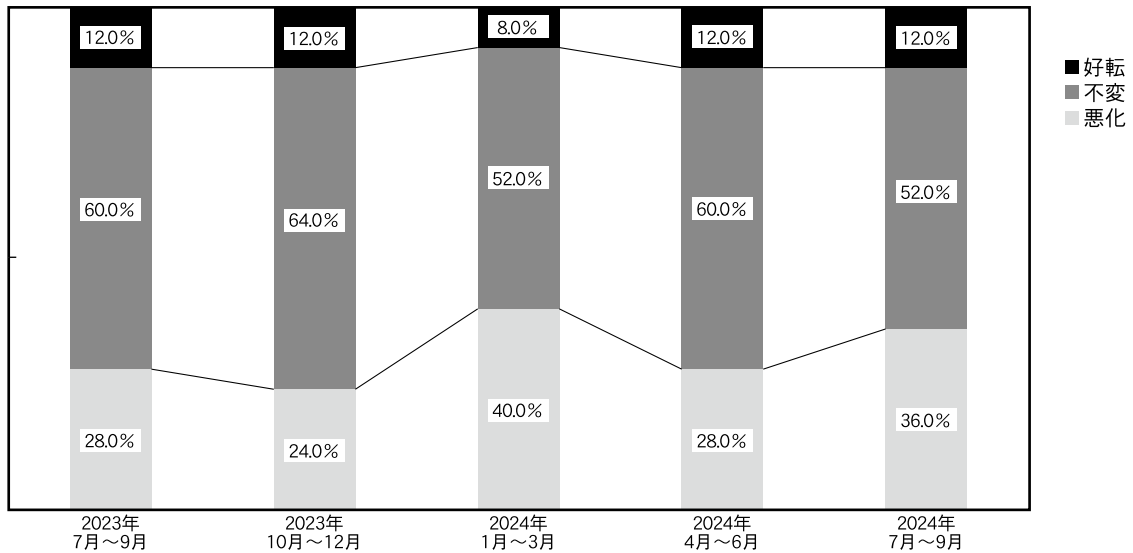


② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（3社）で変化なし。
 「不変」は52.0%（13社）と増加（前期比+6社）、
 「悪化」は36.0%（9社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

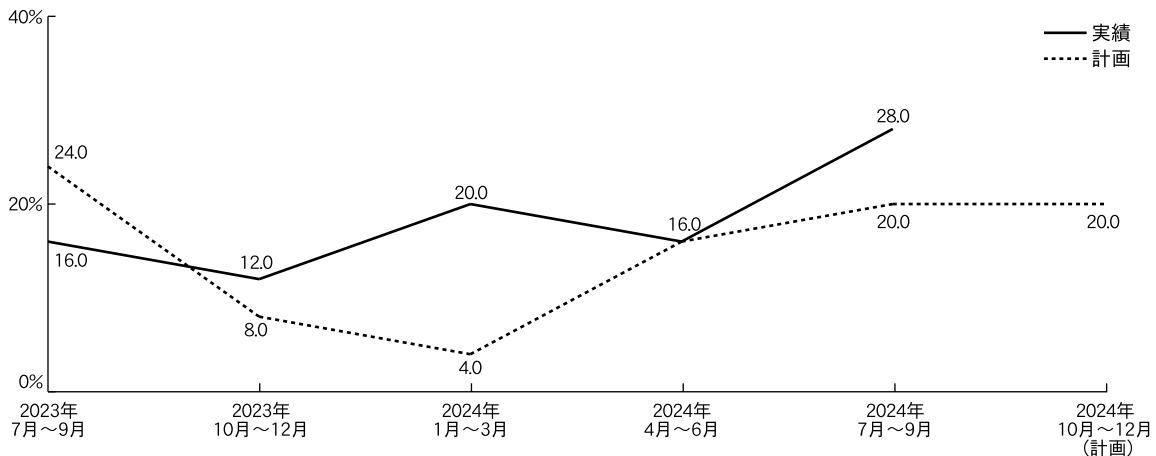


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は28.0%（7社）であった。その設備投資の内容は、「OA機器」が4件、「土地」が2件、「建物」「建設機械」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、20.0%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「土地」が3件、「建物」「建設機械」「車両・運搬具」が2件ずつ、「OA機器」が1件になる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数24社）

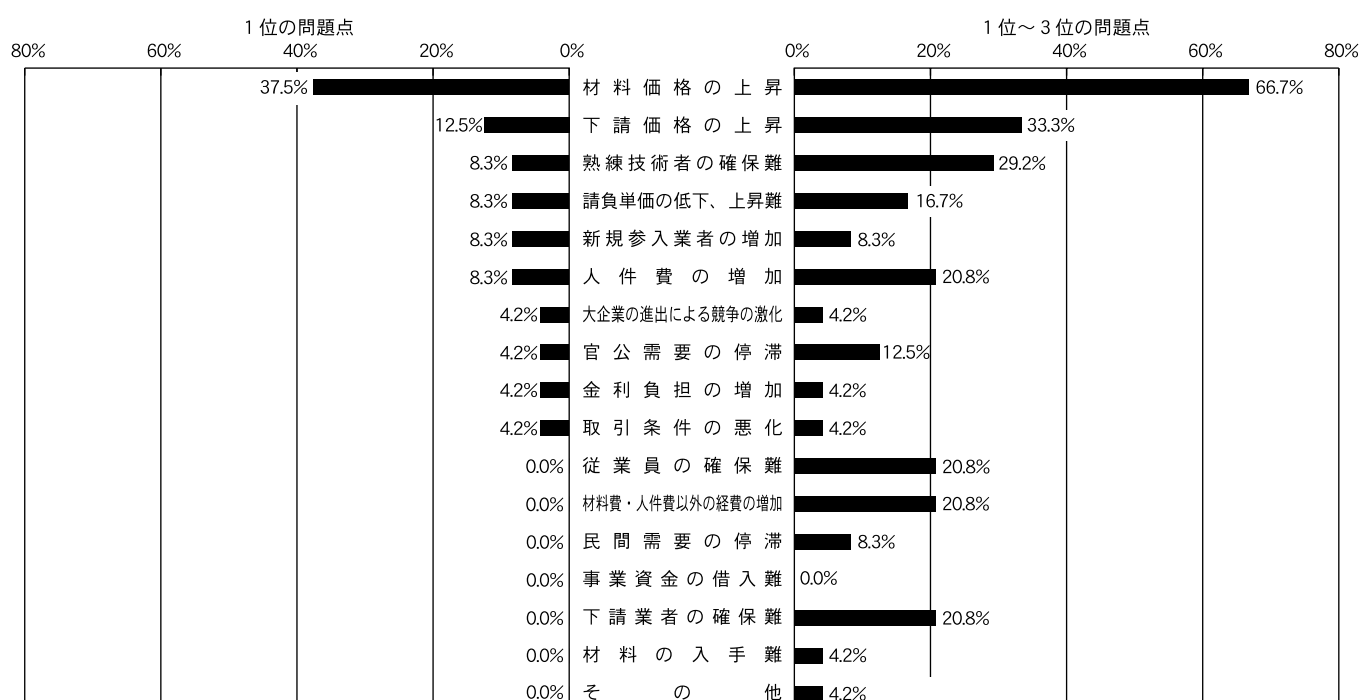
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

過去調査に引き続き「材料価格の上昇」が最も多く挙げられており37.5%（9社）であった。2番目に多かったのは「下請単価の上昇」の12.5%（3社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の66.7%（16社）であった。2番目に多かったのは「下請単価の上昇」の33.3%（8社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|-------|-----|--------|
| 総合工事業 | 19 | 76.0 |
| 職別工事業 | 4 | 16.0 |
| 設備工事業 | 2 | 8.0 |
| 合計 | 25 | 100.0 |

従業員規模別

| 従業員数 | 雇用形態 | | 臨時等含む | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | 常雇い | | | |
| | 企業数(社) | 構成比(%) | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下 | 9 | 36.0 | 8 | 32.0 |
| 3人～5人以下 | 6 | 24.0 | 7 | 28.0 |
| 6人～10人以下 | 5 | 20.0 | 5 | 20.0 |
| 11人～20人以下 | 5 | 20.0 | 5 | 20.0 |
| 合計 | 25 | 100.0 | 25 | 100.0 |

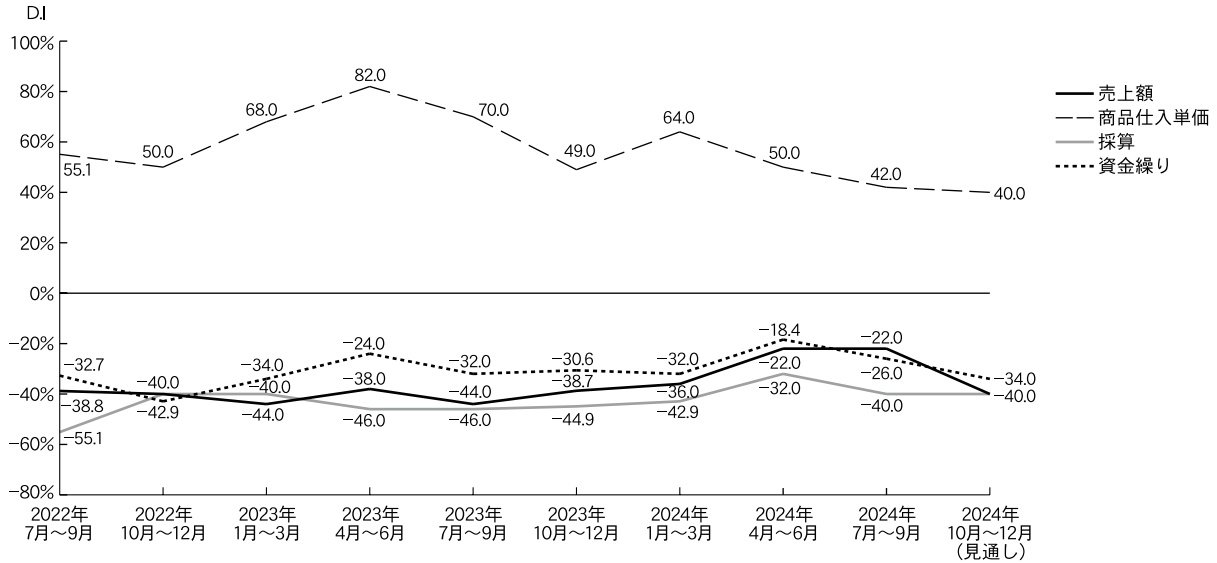
4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲22.0と前期比変化なしであったが、来期は▲40.0へ悪化の見通し。商品仕入単価D Iは、今期42.0と前期比で8.0ポイント下降（改善）し、来期も40.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲40.0と前期比で8.0ポイント悪化し、来期は今期同様▲40.0の見通し。資金繰りD Iは、今期▲26.0と前期比で7.6ポイント悪化し、来期も▲34.0へ悪化の見通しである。

今期は売上額D Iが変化なし、商品仕入単価D Iが改善、採算D I・資金繰りD Iが悪化した。来期は売上額D I・資金繰りD Iが悪化、商品仕入単価D Iが改善の見通し、採算D Iが変化なしの見通しである。

山梨県 小売業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

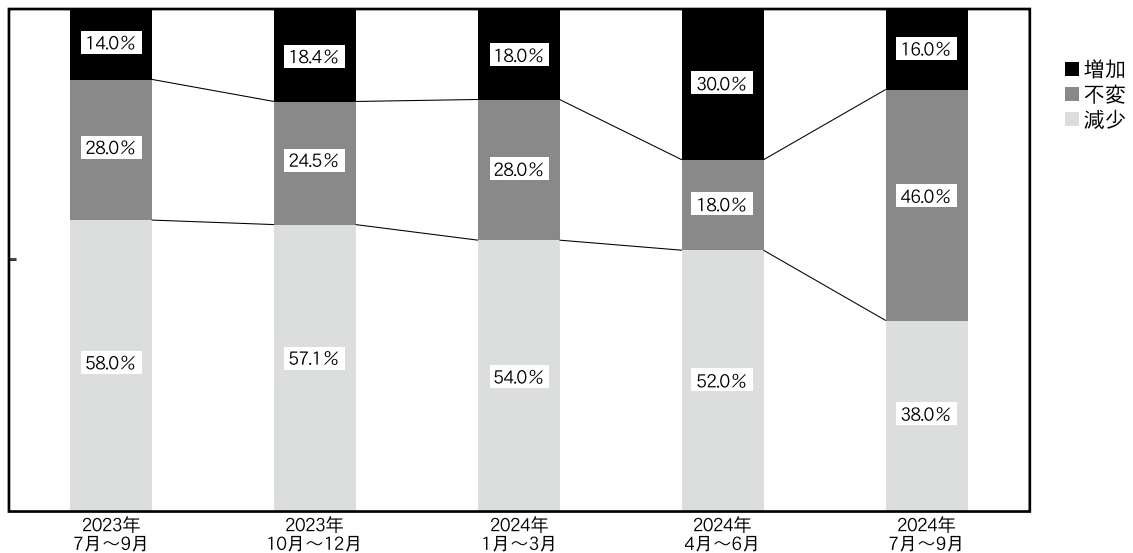
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、16.0%（8社）と減少（前期比▲7社）している。

「不変」は46.0%（23社）と増加（前期比+14社）、

「減少」は38.0%（19社）と減少（前期比▲7社）している。

山梨県 小売業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

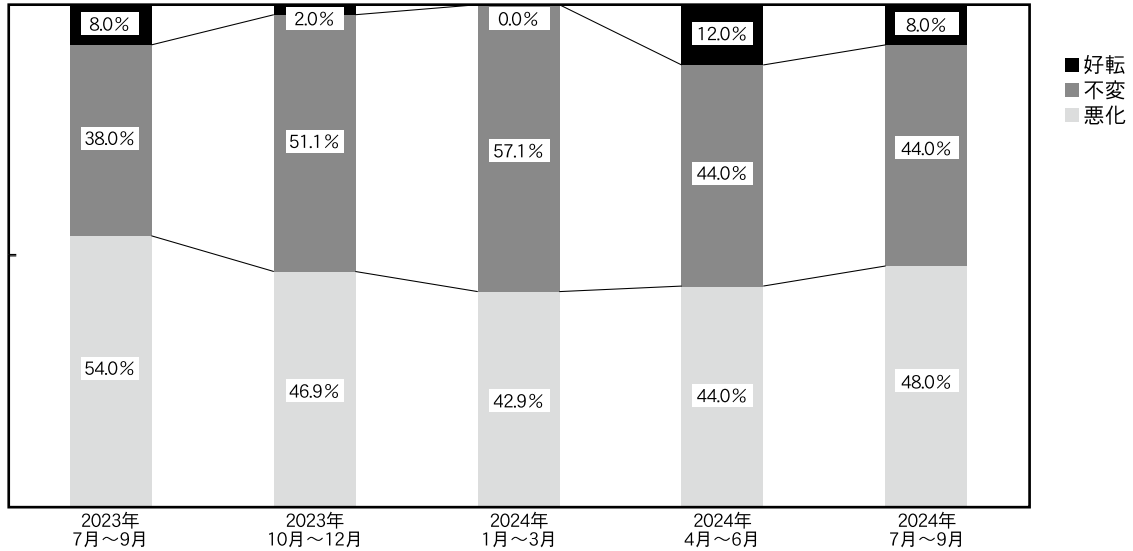
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（4社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は44.0%（22社）と変化なし、

「悪化」は48.0%（24社）と増加（前期比+2社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

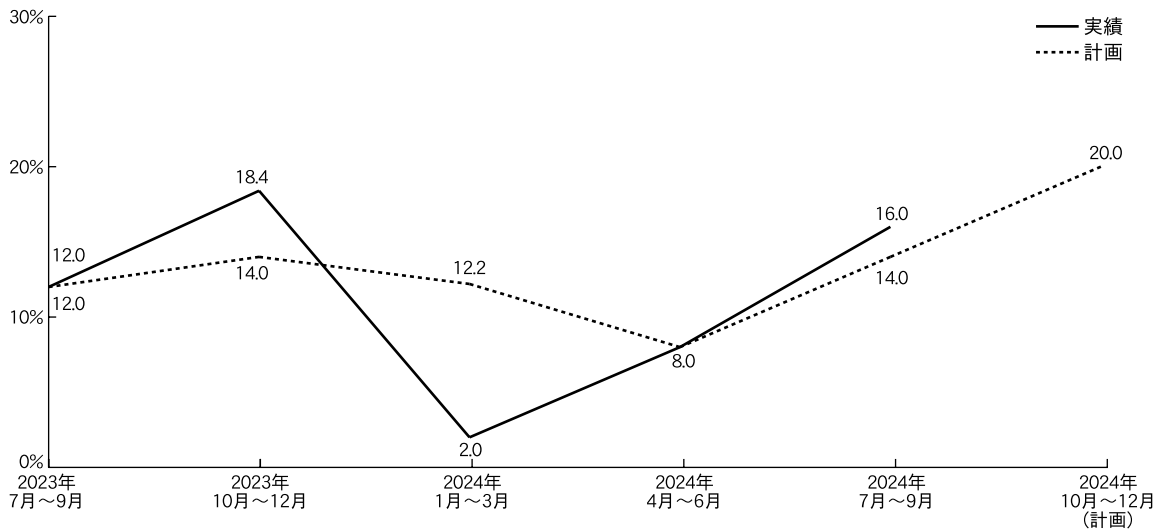


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は16.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「店舗」が3件、「車両・運搬具」が2件、「販売設備」「OA機器」「付帯施設」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、20.0%（10社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「販売設備」「車両・運搬具」が4件ずつ、「OA機器」が3件、「店舗」「付帯施設」「その他」が2件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数49社）

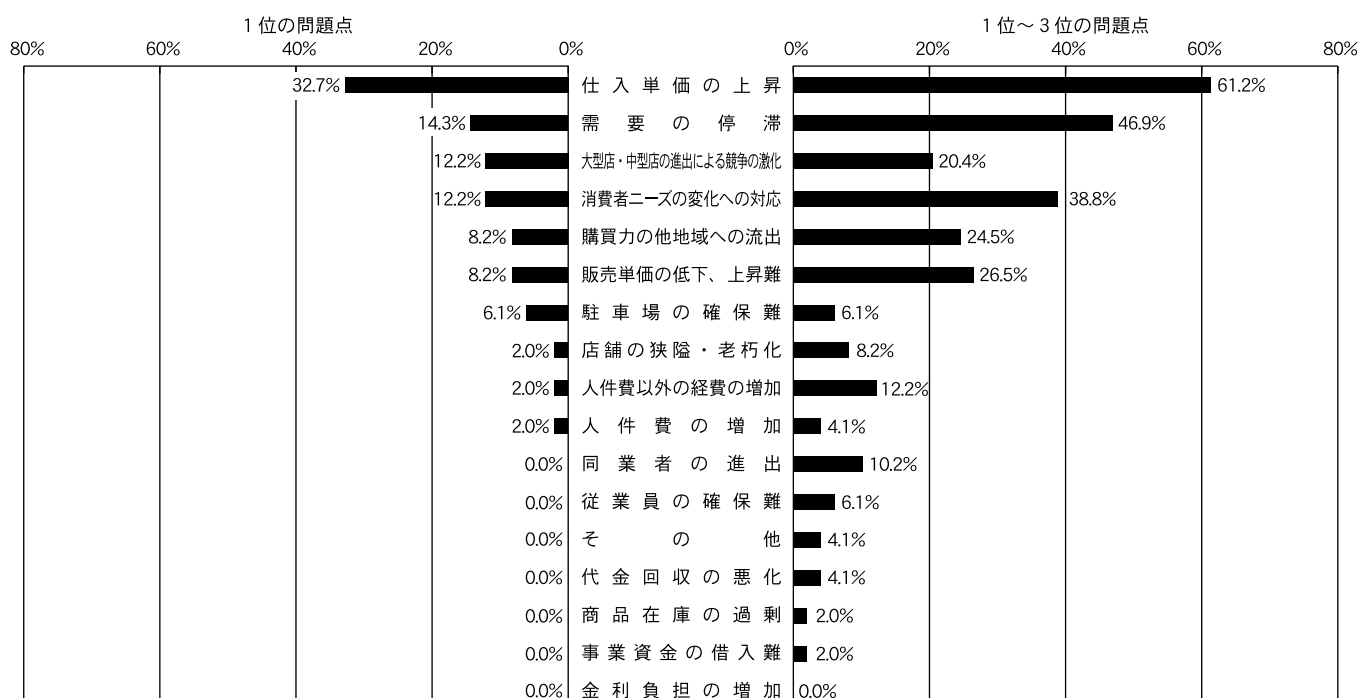
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の32.7%（16社）であり、2番目は「需要の停滞」の14.3%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の61.2%（30社）であり、2番目も「需要の停滞」の46.9%（23社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|----------------|-----|--------|
| 織物・衣服・身の回り品小売業 | 11 | 22.0 |
| 飲食物品小売業 | 18 | 36.0 |
| 自動車・自転車小売業 | 2 | 4.0 |
| 家具・建具・じゅう器小売業 | 4 | 8.0 |
| その他小売業 | 15 | 30.0 |
| 合計 | 50 | 100.0 |

従業員規模別

| 従業員数 | 雇用形態 | | 従業員数 | |
|----------|------|-------|--------|--------|
| | 常雇い | 臨時等含む | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下 | 46 | 92.0 | 38 | 76.0 |
| 3人～5人以下 | 4 | 8.0 | 11 | 22.0 |
| 6人～10人以下 | 0 | 0.0 | 1 | 2.0 |
| 合計 | 50 | 100.0 | 50 | 100.0 |

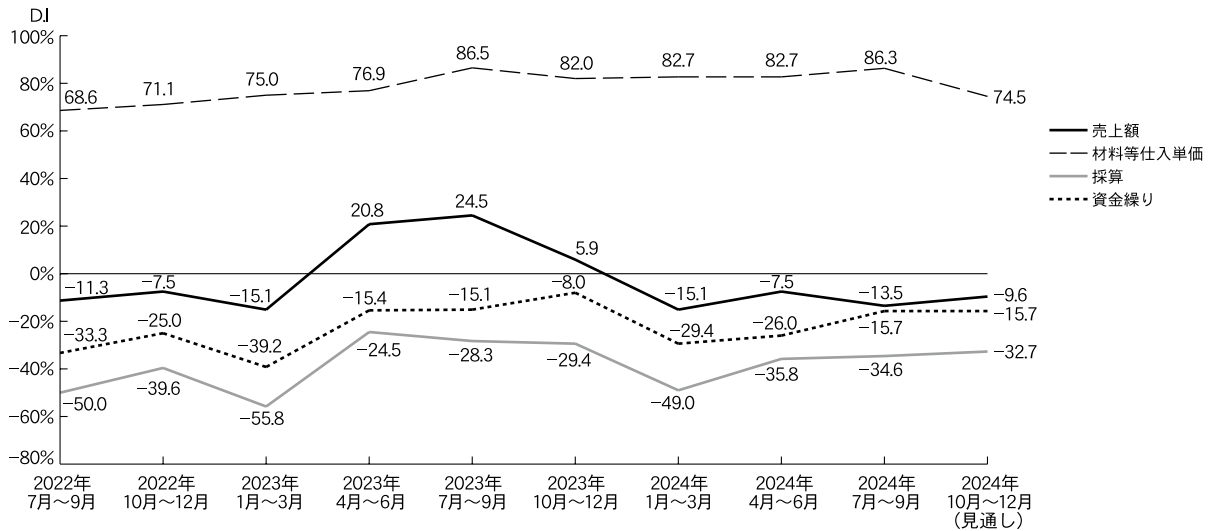
5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲13.5と前期比で6.0ポイント悪化したが、来期は▲9.6へ改善の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期86.3と前期比で3.6ポイント上昇（悪化）したが、来期は74.5へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲34.6と前期比で1.2ポイント改善し、来期も▲32.7へ改善の見通し。資金繰りD Iも、今期▲15.7と前期比で10.3ポイント改善し、来期は今期同様の▲15.7の見通しである。

今期は売上額D Iと材料等仕入単価D Iが悪化し、採算D Iと資金繰りD Iが改善した。来期D Iは資金繰りD Iが変化なし、他のD Iは全て改善見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

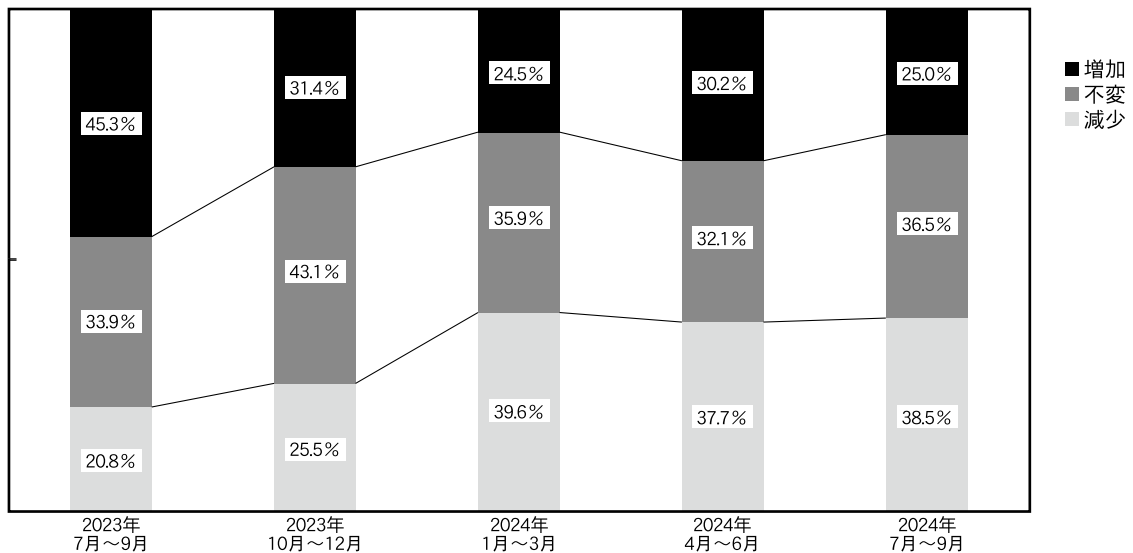
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数52社（前回53社）））

「増加」と答えた企業の割合は、25.0%（13社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は36.5%（19社）と増加（前期比+2社）、

「減少」は38.5%（20社）と増加（回答社数は変化なし）している。

山梨県 サービス業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数52社（前回53社））

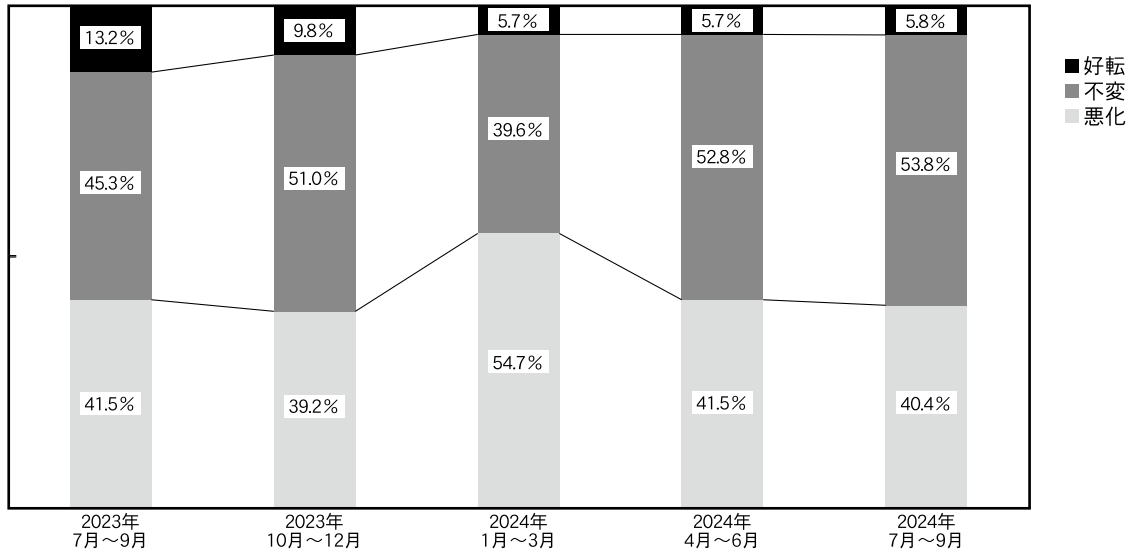
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.8%（3社）と増加（回答社数は変化なし）している。

「不変」は53.8%（28社）と増加（回答社数は変化なし）、

「悪化」は40.4%（21社）と減少（前期比▲1社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

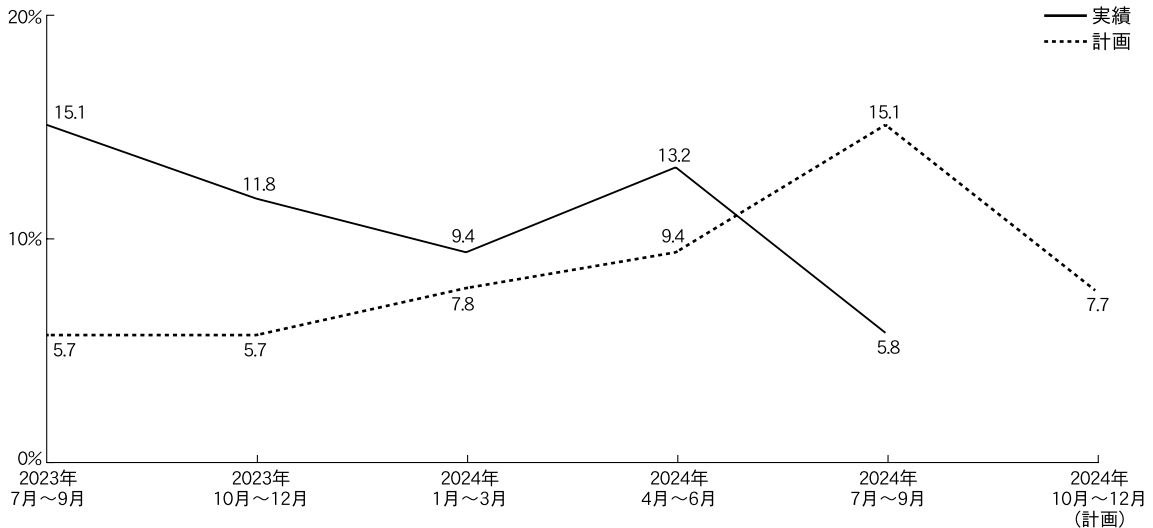


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数52社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は5.8%（3社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」「車両・運搬具」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、7.7%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建物」「サービス」が2件ずつ、「付帯施設」が1件になる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

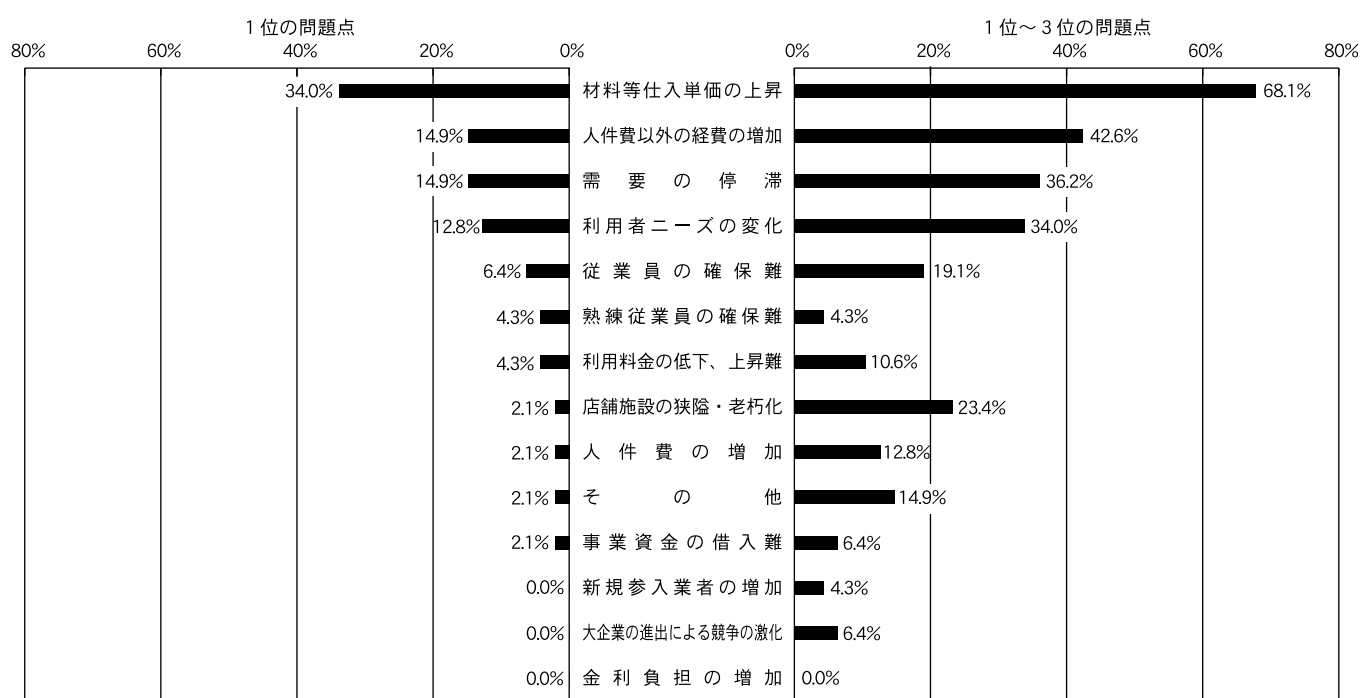
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の34.0%（16社）であり、2番目は「人件費以外の経費の増加」と「需要の停滞」の14.9%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも1番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」で68.1%（32社）、2番目は「人件費以外の経費の増加」で42.6%（20社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 一般飲食店（一般・遊興） | 19 | 36.5 |
| 宿泊業 | 7 | 13.5 |
| 運送業 | 1 | 1.9 |
| 自動車整備業 | 4 | 7.7 |
| 洗濯・理美容業 | 18 | 34.6 |
| その他のサービス業 | 3 | 5.8 |
| 合計 | 52 | 100.0 |

従業員規模別

| 従業員数 | 雇用形態 | | 臨時等含む | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | 常雇い | 臨時等含む | 常雇い | 臨時等含む |
| | 企業数(社) | 構成比(%) | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下 | 44 | 84.6 | 37 | 71.2 |
| 3人～5人以下 | 8 | 15.4 | 11 | 21.2 |
| 6人～10人以下 | 0 | 0.0 | 3 | 5.7 |
| 11人～20人以下 | 0 | 0.0 | 1 | 1.9 |
| 合計 | 52 | 100.0 | 52 | 100.0 |